

すこやか

歯について考えよう!!!

①



6月4日から6月12日まで『歯の衛生週間』です。みなさんが、歯や口の中のことについて考える期間になってほしいと思います。

はじめに、5月の歯科検診の結果についてお知らせします。

今年の歯科検診の結果、30人がむし歯はありませんでした。残念ながらむし歯が見つかった人は早く歯医者さんへいってなおしてきてくださ

いね。きれいに歯をみがいて、むし歯のない真名子小学校にしましょうね。

歯について知ろう!!!

歯って何本あるの？



子どもの歯はぜんぶで20本あります。おとなの歯は、あごの大きさなどによって違いますが、ぜんぶ生えそろうと32本です。

おとなの歯は子どもの歯とくらべるととても強く、むし歯になりにくいのですが、生えかわったばかりのおとなの歯はまだやわらかいので、とてもむし歯になりやすくなります。そう、ちょうど子どもの歯とおとなの歯が生えかわる小学生のころが一番むし歯になりやすいのです。生えかわったばかりのおとなの歯と、子どもの歯では高さが違うのでみがきにくいところでもあります。



おとなの歯は

人によって数がちがいます。

どうしてむし歯ができるのかな？



ほとんど人の口の中には、むし歯菌（ミュータンス）がすんでいます。では、なぜむし歯ができる人とできない人がいるのでしょうか？

理由の一つは歯質（歯のかたさ）です。そして、歯垢（『プラーク』食べもののカス…歯をつめでこすると白っぽいものがついてきます）。歯垢とむし歯菌がいっしょになり、時間がたつと歯をとかしはじめます。それが『むし歯』です。

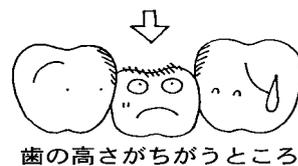
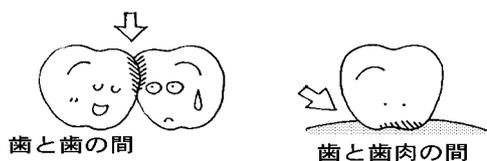
歯が弱く、歯垢をつけたままにしておく人がむし歯になりやすいと言えます。



むし歯になりやすいところはどこ？



むし歯になりやすいところは、歯垢（プラーク）がつきやすく、右の絵のようなみがきにくいところです。大きくなった永久歯はかたく、ミュータンスの出す酸から守る力が強いのですが、乳歯や生えたばかりの永久歯は、まだやわらかいのでむし歯になりやす



歯垢（プラーク）のつきやすいところ



く、またむし歯になると短い時間でどんどん広がってしまいます。

むし歯になりやすいところは

工夫してていねいにみがこう！

